

萩ジオパーク

推進協議会だより vol.111

萩ジオパーク推進協議会
| 2024年5月31日発行 |



〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765 ☎ 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 <https://hagi-geopark.jp>

📘 <https://www.facebook.com/HagiGeoProject>

川上小学校で「藍復活プロジェクト」始まる！

5月27日に、萩市立川上小学校にて藍染の材料である“タデアイ”を植える全校児童参加の行事があり、白井専門員が講師の一人として参加しました。

現在では地元でもほとんど知られていませんが、川上地域は江戸時代から大正時代ごろまで、藍の一大生産地だったそうです。はじめに白井専門員と萩博物館の清水学芸員から川上が藍の産地になった自然的な背景と、萩の藍の歴史や利用のされ方を室内で学んだあと、外に出てNPO 萩まちじゅう博物館「あい班」の皆さんのご指導の下で、タデアイの苗を植える作業を行いました。

川上地域は周囲を深い山で囲まれた狭い平野とそこを流れる阿武川が特徴です。阿武川は大雨のたびに氾濫し、周囲の山から運んできた土砂や養分を平地にもたらしめます。さらにはその下流域の萩や海にも土砂や養分をもたらしめます。稲作の場合、阿武川が氾濫しやすい台風シーズンより後に収穫を迎えるため難しいですが、夏に収穫できる藍なら、もともとの大地の営みを止めることなく行えます。技術や物流が発達した現代では、どんな地域でも好きな産業を選択できますが、土地に合った産業を選択することの大切さを改めて考えるきっかけになったのではないのでしょうか。



この企画は、学校の先生からの「ジオパーク視点でふるさとを学びたい」というご依頼から始まりましたが、萩博物館の清水さんからの情報提供や、20年に渡って藍栽培を続けてきた市民の皆さんの活動があって実現しました。順調にいけば秋の「川上ふるさとまつり」などで、藍染作品のお披露目も予定しているそうです。どんな風に染まるのか、今から楽しみですね！

令和6年度 萩ジオパーク推進協議会定期総会を開催

5月21日、「萩ジオパーク推進協議会」定期総会が萩・明倫学舎で開催されました。

議案として提出された「令和5年度事業報告・決算」「令和6年度事業計画・予算」「監事の選任」はすべて原案どおり可決されました。

事業報告の中では、昨年4月末から始めた、笠山山頂展望台（鳶ノ巣）のカフェが好評で、売上が見込みを上回ったことや、日本ジオパーク認定5周年を記念して「萩ジオパークフェスティバル」を開催したことなどが報告されました。一方でイベントや講座の地域住民の参加が少ないことなどの課題も報告され、それに対してはマスメディアを上手く活用することなどの意見が述べられました。

令和6年度は、「萩ジオパーク・大地の日」を毎月1回開催していくことや、昨年度に続き「永尾隆志・萩ジオパーク基金事業」により須佐海苔石海岸休憩所（つわぶきの館）の展示スペースの整備などを進めていきます。また、新監事としてNPO萩まちじゅう博物館の伊藤富之さんが選出されました。最後には柚洞戦略顧問、平田顧問にお話しいただきました。



日本ジオパークの審査のための公開プレゼンが行われました

5月25日に千葉県千葉市の幕張メッセにて、日本ジオパークの審査のための公開プレゼンテーションが行われました。今年、世界ジオパークの国内候補地を目指すMine秋吉台ジオパークと日本ジオパークの新規認定を目指す徳島県の三好ジオパーク構想の2地域の発表と質疑応答が行われました。

萩のお隣のMine秋吉台は、世界基準を意識して取り組んできた活動や、石灰岩などの地質資源の採掘や販売と向き合ってきた地域の未来について話し合ってきた成果などについて発表していました。三好は、コロナの影響もあり7年もの長い準備期間を経ての申請ですが、その中で着実に活動を積み重ね、住民や地域の様々な組織・団体と生み出した成果を紹介していました。プレゼン後に行われた日本ジオパーク委員会の会議の結果、両地域とも次の段階である現地調査に駒を進めることになりました。萩と同じ中四国近畿ブロックの仲間の新たなステップを応援しつつ、私たちが負けないように頑張っていきましょう。



ぶらっとあとう in 篠生でジオウォーク！

5月23日に山口市阿東篠生で「ぶらっとあとう in 篠生」が開催され、白井専門員が講師として参加しました。「ぶらっとあとう」は山口市の健康増進課主催の行事で、地球目線で健康ウォーク！をテーマに2019年から始まり、今回で5回目です。

健康運動指導士さんによるストレッチやウォーキングの指導を受けた後、初夏のすがすがしい気候の中、篠目川に沿って田園風景の中を歩きました（約1.8km）。篠生の景色を地球目線で紐解くと、山間部なのにずっと真っすぐな国道、鉄道があるわけ、広い徳佐盆地、萩の三角州、さらには湯田温泉の成り立ちのヒミツも見えてきます。地元の方の参加が多かったですが、見慣れた場所でも視点が変わることによって新たな発見がたくさんあり、楽しんでいただけたようでした。歩き終わった後には、食生活改善推進員さんたちによる野菜を使った健康レシピの試食会もあり、身体も頭も胃袋も大満足のイベントでした。





萩ジオパーク・大地の日を開催

5月19日、「萩ジオパーク・大地の日」を開催しました。今年度より月一回、各地で開催を行いますが、今回は今年度の第一回目で会場は大井公民館でした。当日は晴れて暖かい日でしたが、日中は暑いくらいでした。

野外会場「大地の遊びひろば」では、外遊びの基本、ロープワークを覚えるチャレンジなどが行われ、うまくできた人は認定バッジを受け取っていました。屋内会場「こども地球の学校」では、大井の地形模型や竹の風鈴などを作成する体験コーナーや萩の島々の形をしたオリジナル輪投げなどのゲームコーナーを開設し、来場者の方に楽しんでいただきました。来場者の中には遠く下関からいらっしゃった方もいて、各体験を楽しんでいられました。また、出展者同士の交流もあり、それぞれの出展を巡ったり、会話をしたりして互いの情報交換などをおこなっていました。

今後も月一回各地で開催していきますので、気軽に遊びに来てください。次回は6/16(日)10:00~14:00、小川公民館での開催です。出展者も募集しています。



大地の日 開催予定
出展募集

「地球を食べる食堂」参加者募集中！

地域にちなんだ食材について、大地の目線、育てる・とる人の目線、料理する人の目線で学ぼう！お話を聞いた後は、自分たちで料理を作っておいしく食べます。

今回は、萩市の小川地区で開催される「大地の日」に合わせ、小川でとれる「たまねぎ」がテーマ。たまねぎとりんごを使った豚しょうが焼きプレート（おにぎり付き）をつくりまします。詳細はHPをご確認ください。

【日時】2024年6月16日(日) 11:00~12:10

【会場】小川公民館・調理実習室

【参加費】500円

【定員】先着8組(1組3名まで)

【持ち物】エプロン・三角巾・マスク・タオル

【申込み】申込みフォームまたはお電話

(0838-21-7765、平日9~17時)

※切：6月7日(金) 17時





参加者募集

参加者へ参加登録費や旅費を一部補助します！！

全国のジオパーク関係者が一堂に会する第14回日本ジオパーク全国大会・下北大大会が8月30日（金）～9月1日（日）に青森県むつ市で開催されます。今大会のテーマは「ジオパークでつながる 海 大地 未来」で、ジオパークという枠組みを通して海や大地で全国、世界とつながり、このジオパーク活動や理念を今だけでなく、次の世代、未来に繋げていきたいという思いが込められています。

この大会に参加してみようと思われる方は、6月10日（月）までに事務局へご連絡ください。下記条件を満たす方には大会参加費や公共交通機関による交通費を半額補助します。

【補助内容】大会参加費（13,000円）及び公共交通機関による交通費の1/2
（上限：37,000円。宿泊費、自家用車、タクシー代等除く）

【補助条件】萩ジオパークの一員として、分科会、ポスター発表に参加すること。
推進協議会だよりに参加報告を寄稿すること。

【定員】5名程度

【申込・問合せ】萩ジオパーク推進協議会まで電話（0838-21-7765）
もしくは、メール（geo@city.hagi.lg.jp）

【大会詳細】：大会公式HPでご確認ください。

（「第14回日本ジオパーク全国大会」で検索）

※大会への参加申込や交通手段の確保、宿泊予約等は参加者各自で行ってください。



わっきー教授のジオ・ワールド ② スロベニア 2 カルスト台地

4コマ漫画「がんばれ!半田くん」の主人公である半田ライムくんは、萩市半田地区の石灰岩が元になっています。この石灰岩は、秋吉台の石灰岩と兄弟みたいな存在です。石灰岩は、中国や米国、欧州各国などに広く分布しています。石灰岩は、酸性の水に溶ける性質があるので、地下に鍾乳洞が発達し、カルスト地形と呼ばれる特殊な地形を作ります。カルストという名前は、東欧のスロベニア（旧ユーゴスラビアの一部）にあるクラス（ドイツ語でカルスト）という地名に由来しています。ここには鍾乳洞が沢山あって、第二次世界大戦のときは、ナチスドイツに抵抗していた人民解放軍（パルチザン）の隠れ家として活用されていました。その隠れ家には、傷病兵のための病院が設置され、その1つフラニャ・パルチザン野戦病院（写真）は、現在も保存され、観光客に公開されています。人民解放軍の総司令官であったチトーは、第二次世界大戦後にユーゴスラビアの初代首相・第二代大統領となりました。



スロベニアのカルスト地形



フラニャ・パルチザン野戦病院



野戦病院周辺の石灰岩



石灰岩の谷地形（洞窟もある）

6月の予定

- geoとも（萩ジオ友の会）定例会 6月15日（土） 9:30～16:00 内容：現地探訪「田んぼ巡りをしながら宇生賀盆地へ～大井、紫福、むつみ経由～」 集合場所：大井公民館駐車場 主催・問い合わせ：geoとも 桂（0838-21-7173）、中西（080-8747-9383）
- 6月16日（日） 10:00～14:00 大地の日 場所：小川公民館 内容：野外でのアウトドア体験や、室内での実験や工作体験 地球を食べる食堂（前頁参照） 主催：萩ジオパーク推進協議会（0838-21-7765）